

社会医学系専門医制度ZENHO通信(No.9 特集号)

平成31年2月25日発行
全国保健所長会

香川県における公衆衛生医師理解促進事業のご紹介

香川県では行政医師確保のため、近隣の公衆衛生学教室をまわったり、香川大学医学部公衆衛生学教室に特命助教を採用したりするなど様々やってきましたが、結局、地道ではありますが「**学生や若手医師にしっかりと仕事の内容や魅力を伝えることが大切**では」ということで、平成30年度から公衆衛生医師理解促進事業を開始しました。

この事業は全国保健所長会が平成24年度から毎年開催している「公衆衛生若手医師・医学生サマーセミナー（PHSS）」から着想を得たもので、香川県内で医学生や若手医師を対象に**小規模なセミナーを年4回以上、中規模なセミナーを年1回開催**することとしております。



医学生や若手医師が集まりやすい時間帯や会場の設定には大学の協力が不可欠であること

から、医学部公衆衛生学教室に委託して、医学部研究棟にある研究室を会場に使わせていただいたり、校舎内のエレベーターや掲示板へのポスター掲示、参加受付の事務窓口や会場準備などをしていただいたりしております。

ポスターは**大学構内の他の掲示物とは、異なるデザイン**にして、**パッと目を引くキャッチコピー**を入れるように工夫しました。



「小規模セミナーのポスター」 講師の先生に了解を得て、キャッチコピーを作成

また、県内の公衆衛生医師のみでは複数回のセミナーを開催するにはマンパワー的に厳しいことや各回のセミナーに特別感を与えにくいことから、**県外から講師を招請**する方法をとっております。**講師の招請には**人脈の広い**大学の平尾智広教授と廣瀬班の研究スタッフである高松市の藤川愛先生にも御協力**いただいております。

さらに、県では、これまで医学部生の実習受け入れを保健所見学として行っていたものに加えて、新たに**県庁での研修受け入れ**を開始し、数日間の実地研修をしてもらいながら、研修に来た学生からセミナーについて「どのようなテーマだっ

たら参加したいか」を聞いて企画に取り入れるとともに、セミナー開催の周知に協力してもらっています。



香川県公衆衛生医師理解促進事業スケジュール	
4～5月	医学部4年生・6年生の県庁実習受け入れ、大学と専業について打合せ
6月1日	県の行政医師が4年生の公衆衛生講義を担当、その際にセミナーの周知
6月8日	第1回 公衆衛生医師とのコーヒーブレイクセミナー テーマ「君たちは行政医師になれるか」 外部講師なし
8月	全国保健所長PHSSIに6月8日のセミナー参加者1名を派遣
11月9日	第2回 コーヒートークセミナー 秋の夜長に公衆衛生医師と語り合う テーマ「行政だからできたことって何ですか？」 ゲスト 福岡県保健医療介護部医監 白石 博昭 先生
11月29日	第3回 コーヒートークセミナー テーマ「新型インフルエンザ、行政医師はどう対応した？」 ゲスト 姫路市保健所 所長 田所 昌也 先生
12月17日	Public Health Winter Seminar テーマ「私たちが新しい公衆衛生の時代をつくる」 ゲスト 厚生労働省健康局健康課 中村 洋心 先生 高知県安芸福祉保健所 児玉 佳奈 先生
1月25日	第4回 公衆衛生医師とのコーヒートークセミナー テーマ「次世代を担うリーダーを育てる！社会医学系専門医制度」 ゲスト 大阪府寝屋川保健所 所長 常園 将哉 先生
2月15日	2018年度最終回 公衆衛生医師とのコーヒートークセミナー テーマ「行政は女性医師にとって働きやすいのワソとホソド」 ゲスト 大阪府高田林保健所 所長 永井 仁美 先生

このように、**大学、中核市、県で連携**した取り組みを行うことで、医学部生・若手医師を合わせて、本年度の**延べ参加者数は87名**となりました。アンケートでは「公衆衛生医師がどのような仕事をしているかを知ることができた」「来て良かった。改めて将来について考えるきっかけになった」「行政医にとっても興味がありました」等、公衆衛生医師への理解促進につながる成果が得られていると考えています。

本事業は来年度以降も、当面は継続していく予定です。

全国津々浦々の先生方をお呼びしていきたいと考えておりますので、保健所長
会の皆様にはゲスト講師として御協力のほどよろしくお願いいたします。

文責 香川県健康福祉部 医療主幹 横山勝教